

現役学生による就職活動報告

李 翰珍

Hanjin I

田中 孝司

Koji TANAKA

張 竹鑿

Chikukin CHOU

1. 私の就職活動

(李 翰珍)

私が就職活動を始めたのは12月下旬です。合同説明会に参加し、まず就職活動がどういったものかを体験することから始めました。そこでわかったことはIT業界だけではなく、様々な業種に興味をもったことです。実際に私はIT業界以外にも金融や営業職も選択肢の一つとして活動していました。自分の新たな一面を知ることが出来ると思うのでぜひ参加することをお勧めします。

資格取得、学期末試験などもあり本格的に就職活動を取り組み始めたのは三年次の二月下旬です。もちろん、資格取得の合間にSPIの対策だけは行っていました。この段階ですでに他の就職活動生に大幅に遅れていることは自覚していました。遅れを少しでも取り戻すためにキャリア支援センターは週に5回通い説明会も週に5回行っていました。頻繁にキャリア支援センターに行ったのは履歴書添削の為です。おかげで書類審査を落ちる確率は少なくなりました。また、面接などもキャリア支援センターで対策し万全の状態で見込みました。結果はすぐにあらわれ、二次面接や最終面接まで進めることが出来ました。

しかし、順調に最終面接まで行ったのですが結果は散々でした。初めての最終面接は緊張で伝えたいことが言えずに人事の方からもそのことを言われました。また、最終面接を落ちたのをきっかけに他の企業にも通らなくなり、焦りが生まれました。そこで自分に足りないものは何かを考え、面接時の自分の回答を振り返りました。振り返ってわかったことは熱意と覚悟が足りないことです。「これに落ちたらどうしよう」という考えが緊張をもたらし、企業で自分がやりたいことを明確にしなかったことが原因だと思いました。履歴書に企業毎にどのような学生を求めているのか

を説明会や企業のホームページを利用し導きだしました。また、面接では企業でどのような人物(エンジニア)になりたいのか、何を学びたいのか、入ってからの目標を明確にしました。2カ月後、IT企業の最終面接を通過し、内定を頂くことができました。人事の方も「我々のことをよく理解している」と言われ私のやり方は間違っていないと思います。

私が就職活動する上で大切なことは土台作り、目標だと思います。土台作りは履歴書作成です。書類審査で落とされるのは非常に勿体無いし、なにより作成する上で自分の軸が定まるからです。土台作りを終えたら次は目標です。この企業に入ったら何になりたいのか、どのようにスキルアップをしていくのかを明確すれば人事の方にも好印象を与えます。逆に「～になりたいと思います」ではあまり良い印象を与えません。これから就職活動を始める方に言いたいことは目標をしっかりと定め、キャリア支援センターを積極的に利用して下さい。自ずと結果は出るはずですよ。

著者紹介

李 翰珍 (い はんじん)

平成21年3月 九州産業大学附属九州高等学校卒業

平成26年3月 九州産業大学情報科学部情報科学科卒業見込み 宮崎研究室所属

2. あなたの就活スタイルを見つけよう

(田中 孝司)

私の就職活動は3年の12月から始まりました。初めに多くの企業が参加する合同企業説明会に行き、

IT系企業を中心に会場を回っていました。大勢のスーツを着た学生に少し圧倒されてしまい、会場内がスーツ姿で真黒に染まるのを見て、この大勢の人達の中で私は本当に就職できるのだろうかと不安を覚えました。就職活動とは何をすれば良いのか分からず、とりあえずキャリア支援センターに何度も相談に行きました。それから私は面接等の対策講座を受講し、学内説明会にも参加しました。

そして手帳の予定表には週に3~4社の説明会の予定を入れるようにしていました。「しっかりと就職活動してんじゃないか！俺！」と思った矢先、早速問題が起きました。筆記試験にほとんど通らないのです。実はSPIの本を1冊買ったものの、あまり対策していなかったからです。しかし、今から焦ってやろうとしても志望度の高い企業の試験日は数日後に控えていました。結局、気になっていた企業にも不合格となり、面接まで進めず、自分の入社したいという意思すら伝えられないまま終わってしまいました。

就職活動が始まって数カ月が経った後、リクナビやマイナビで企業を探している時に違和感を感じました。少しずつ企業の説明会が減ってきていたのです。エントリーシートを締め切っている所もあり、焦るばかりでどうすれば良いのか分からなくなりました。そんな時にキャリア支援センターの方や友人などの周囲の人達に相談をしました。どうしてもっと早く自分の将来について、就職活動について考えなかったのだろうかと後悔ばかりでしたが、周囲の方々の助言や励ましで、たまに息抜きをしながら就職活動を再開しました。不安を抱きながらも、落ち着いて諦めずに続ける事で、最終的に内定を頂く事が出来ました。今、振り返ると、自分の努力次第で選べる幅が広がったのではないかと思います。SPIの対策だけでなく、資格を取得し、もっと業界研究をすることで状況が変わっていたかもしれません。就職について早く考える事は非常に重要な事だと思います。

就職活動を振り返って、私が大事だと思った事を3つ程、書きたいと思います。先ず、前述したように、筆記試験対策を行う事です。実施しない企業もありますが、これが通過できなければ企業を選べる幅を狭めてしまうことにもなりますし、面接に進む事も出来ません。次に、人と話す事に慣れ、人との関わりを大事にする事です。私は接客業のアルバイトをしており、

色々な人と話し、接する機会があります。その経験もあり、面接では自分の熱意をうまく伝える事が出来たと思います。最後に、周囲の人に相談し、インターネットやキャリア支援センター等の情報を活用する事です。キャリア支援センターには多くの学生をサポートする方が居ますし、大学に求人を出している採用意欲の高い企業の情報があります。インターネットは多くの企業の情報がありますが、すべて正しいとは限らないので参考程度にし、就職活動については、様々な学生の体験記やノウハウもあると思います。しかし、多くの内定を獲得した学生の体験記が、全ての学生にとって正しい就職活動の手段とは言えません。多くの人達の意見を参考にし、他社のペースに惑わされずに、最終的には就活をする本人の判断で自分のスタイルを確立して活動を行う事が重要だと思います。就職活動は辛い時もありますが、諦めずに続ける事で、いつか必ず内定に繋がりますので頑張ってください。

著者紹介

田中 孝司 (たなか こうじ)

平成22年3月 福岡私立筑紫台高等学校卒業

平成26年3月 九州産業大学情報科学部情報科学科卒業見込み 成研究室所属

3. このターニングポイントで新たな人生をスタートしよう (張 竹塹)

皆さんの中で「就職活動って？」という疑問を持っている人や、就職活動への不安を持っている人は多いのではないのでしょうか。簡単に説明すると、就職活動というのは人生のターニングポイントとして新たな人生をスタートすることです。皆さんは就職活動を始める前に、その認識をはっきりしておいてください。

私の就職活動経験で「3つの知る、3つのアクション」というメッセージを皆さんへ伝えたいです。

「3つの知る」というのは「現在の自分を知る」、「同じ就職活動をしている人間を知る」、「グローバル社会・興味のある業界と企業を知る」の3つです。

1. 「現在の自分を知る」。それは「自分はどんな人間ですか」という質問からです。その質問の答えは必ずありますので、自分の性格、長所、短所、実力(学力、コミュニケーション能力など)、夢、将来のやりたい仕事などを中心としてよく自問してください。分からない場合、親友など身近な人達に聞き、答えを見つけてみます。

2. 「同じ就職活動をしている人間を知る」。大学の勉強はもちろん、就職活動も様々な人達と共に進めます。自分に有利な立場から考え、相手の優れた点を気付き、そして学びます。最も良い方法は相手と良いコミュニケーションを取り、お互いに学ぶことです。

3. 「グローバル社会・興味のある業界と企業を知る」。皆さんは幼い頃から多くの勉強をされていると思います。就職活動も勉強と同じように、実際に先駆けて必要な知識・常識を勉強するべきです。特に世界経済と興味のある業界・企業の歴史、技術、ビジョンなどを知ることです。例えば、最近企業の方々はグローバル社会についてよく語られています。すなわち、就職活動の前に情報収集が必要です。いわゆるOB・OG・先生・社会人の友達の訪問、Web サイトで情報検索、大学の就職支援課の利用、合同・単独会社説明会など積極的に参加してください。

私の就職活動が上手くいったポイントは「3つの知る」と合わせた「3つのアクション」です。

「3つのアクション」というのは「将来の自分を具体化する」事、「現在の自分より良い自分を作り上げる」事、「多方面な行動をしていく」事の3つです。

1. 現在の自分を知った上で、将来の自分を具体化しましょう。そうすると、将来どんな業界でどんな仕事をしたいかを明確化することができます。そこから「自己PR」、「学生時代に力を注いだこと」などを書けますし、選考を受けたくなる会社も増えていきます。

2. 同じ就職活動をしている人間を知り、学んだ上で、現在の自分より良い自分を作り上げましょう。就職活動中に失敗などは避けられません。その際、諦めず前向きに進め、途中でたくさんの事を勉強しながらより良い自分を作り上げる事で先の勝利を収められます。

3. グローバル社会・興味のある業界・企業を知った上で、多方面な行動をしていきましょう。具体的に

は就職活動の選考対策です。インターンシップなどの就業実体験では学生としてあまり知ることができない社会マナーからしっかりと学ぶことができます。キャリア支援センターが行う「スキルアップセミナー」等の就職活動イベントも積極的に参加してください。広く採用されている適性検査及び応募したい会社に使われている筆記試験を勉強しましょう。なるべく多くの会社の筆記試験に参加する事で経験を積み重ねるのはもちろん、各種の面接にも慣れるようにキャリア支援センターで、積極的に面接練習をしてください。十分な準備をしてこそ、良い結果を出せます。

私が皆さんへ伝えたいメッセージは以上です。参考になれば幸いです。是非内定を得られるように就職活動を精一杯頑張ってください。

著者紹介

張 竹望 (ちょう ちくきん)

平成 22 年 3 月 福岡国際コミュニケーション専門学校卒業

平成 26 年 3 月 九州産業大学情報科学部情報科学科卒業見込み 下川研究室所属